

1. 件名：日本原燃(株)再処理施設及び MOX 施設の設計及び工事の計画の変更認可申請に関する面談

2. 日時：令和3年10月15日(金) 16時00分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 原子力規制部長室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 市村原子力規制部長

審査G核燃料施設審査部門 長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、  
河原崎安全審査専門職

日本原燃(株) 宮越常務執行役員(再処理事業部長)

5. 要旨

○日本原燃(株)から、10/12の審査会合において規制庁から指摘した事項(技術的根拠が不十分なまま意思決定を行ったため手戻りが発生していること等)を踏まえ、対応を検討していることにつき説明があった。

○原子力規制庁から、日本原燃(株)に対して以下の点を伝えた。

- ・電力会社からの支援については、体制を強化し一定の成果があがっているとの説明を受けていたが、今回の審査会合でのやりとりや、審査会合後の面談における説明を聞くと、電力会社からの支援を踏まえた適切な体制の整備、意思決定プロセスの構築などに課題があるように見える。
- ・このため重要なホールドポイントにおける意思決定にミスが生じており、また、関係者間での認識のずれや課題の取りこぼしが見られる。
- ・改めて体制を確認し、意思決定プロセスの明確化を図るとともに、上位者による論点の把握や技術的見極めに基づく意思決定の徹底、適切なコミュニケーションを通じた関係者間での作業方針の共有等、適切に進めてもらいたい。

6. 提出資料：なし

以上